



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

 CREATE HOPE in the WORLD
 世界に希望を生み出そう

 培おうプライド、育もうブランド、
 そして未来へ!!

 輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
 ~我がクラブの志と共に~

第21回(通算1635回)例会報告	令和5年12月15日(金)	卓話
ゲスト	公益財団法人愛知県サッカー協会 東三河地区協会 理事長 山内一乗氏	
出席報告	総会員数57名(計算会員数48名) 欠席12名 出席率75.00% 前々回修正出席率80.39%	
歌/会場	それでこそロータリー	会場:ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

山本雅久会長



皆さんこんにちは、本日は公益財団法人愛知県サッカー協会、三河地区地区協会理事長の山内一乗(豊国工業株式会社代表取締役社長)さんをお招きしてサッカーについてお話しいたします。よろしくお願いいたします。

今年もあと一回の年末家族会を残してロータリーの例会は終わります。

参加者は126名でたくさんの方々をお招きしてクリスマス会の開催となりことしのしめとさせていただきます。開催までの親睦委員会の皆様においては張り切って最後まで宜しくお願いいたします。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!

大林則久会員



入会記念日祝い

高橋哲也会員



米山功労者



第5回米山功労者 宮川嘉朗会員
 第4回米山功労者 大須賀憲太会員
 第2回米山功労者 本多英司会員



第1回米山功労者 青山泰三会員 今川明彦会員

第3回米山功労者 梅田英樹会員

会員スピーチ

「私が今まで育ててきたこと」
 「私が現在育てていること」
 「私がこれから育てていきたいこと」



保永真生会員

本日は皆様の貴重な例会の5分を頂き僕の育てていることをテーマにお話しさせていただきます。僕は常に自分が成長しているかどうかを自己分析しています。例えば年末になって振り返り昨年の自分と今の自分を比べて1年分のバージョンアップが出来ているかどうか、昨日の自分より今日の自分の方が一歩成長しているのかなどです。もう一人の自分はとても厳格に自分をいつも見えています。職業人として仕事を通じ世のため人の為に役立っている活動をしているだろうか。自分の思いや考えは独りよがりになっていないか、私利私欲にまみれていないかなどあらゆる角度から検証し、失敗もありますが原因を究明し見直すことを心が



けています。この世の困りごとの中に新しいビジネスは存在します。困りごとを探ることや、困っている人に頼まれた時に手を差し伸べられているか、精一杯お応えできているかは大切なバロメーターです。自分という存在が必要とされているのか、必要とされる人にならなくてはと自分に言い聞かせ日々を送っています。豊橋ゴールドンロータリークラブに入会して早6年になります。奉仕の心を学び職業において実践することを心がけることで、より多くの方のお役に立てる自分に成長していると実感します。まだまだ未熟者ですが諸先輩方には今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。ありがとうございました。



飯野益通会員

みなさんこんにちは。

知り合いの写真家 山本典義さんが、「日本自費出版文化賞」のグラフィック部門で部門賞を受賞されました。仕事の傍ら軽トラのある景色を撮り続けて写真集を出版。応募数は少ないながらもグラフィック界の権威あるコンテストで高い評価を受けました。しかしご本人に聞いたところこの写真集、実は地元豊橋ではあまり受けが良くなかったそうです。というも当たり前その辺にある見慣れた景色ですから。でも東京や全国の目の肥えた審査員にはかえって面白い写真、テーマに映ったとのこと。同じものでも持っていく場所が変われば評価や価値が全く変わるということを教えてもらいました。いまはSNS等で都会も田舎も簡単につながる時代、ひとつの世界なのです。自分では気づいていない田舎の良さもあるのだなと感じました。

さて自分たちが気づいていない田舎ならではの価値という点で最近私が会社で取り組んでいることが、今回の会員スピーチのテーマにつながるかもしれないと思いましたのでそのことをお話しします。

私の会社は豊橋市の東の端「嵩山町」にあります。静岡県との県境にある本坂トンネルの入り口まで 900m（車で1分、徒歩14分）のところ。すばらしい山の風景と豊かな自然に囲まれて日々仕事をさせてもらっていますが不便なことももちろん多くあります。

先日、豊橋市のほっとメールで【出没情報】クマにご注意ください！とのメールが届いた方も多いでしょう。（場所は多米町の豊橋自然歩道本線と赤岩自然歩道が交わる赤岩尾根分岐点付近。）まだ真相はわかりませんが、これを見て“ついに豊橋にも現れたか”と一瞬緊張が走ったのはわたしだけでしょうか。

というのも私の会社付近では当たり前野生動物が現れます。つい先日もタヌキが会社の敷地内に現れ名古屋から来た取引先の方が珍しそうに写真を撮っていました。これまでも猪やサル、蛇などは普通に見かけますし、昔裏山でムササビを見た事も。シカを見たとの情報もあります。そんな自分にはクマ出没の情報も“もしかして…”と思わざるをえませんでした。街中では最近あまり見ないでしょ

うが、嵩山や石巻あたりの道路では時々動物が車に轢かれているのを見ます。しかし轢かれているのは犬や猫ではなくほとんどはイタチやタヌキ、ハクビシンなどの野生動物です。

温暖化や自然破壊のせいで生息地や食料に変化が起きているのか。など考えてしまいます。

そして、私の会社が今年始めたのが“FSC 森林認証紙”の取り扱いです。「このマークです」紙の原料となり、CO2の吸収や酸素の供給の役割も担う森林。FSC 認証は適切に管理され認証林やその他責任をもって調達された原材料で作られた製品に認証ラベルを付けて消費者に届ける仕組みです。このマークを目印に、生物多様性や地域社会、労働者の権利などを守って適切に生産された製品を選択することができます。

また“カーボンオフセット”の取り組みも始めました。（印刷物の製造過程で排出する温室効果ガスの量を測り、量に応じたクレジットを購入することで実質 CO2 排出ゼロにするという仕組みです。これらの活動を“見ることのない未来のため”にというテーマを掲げて推し進めています。）

これまであまり認識されてこなかった“田舎にこそある良さや価値”を育み次の世代に残すために、まずできることから始めようと思いました。

冒頭にも紹介させていただいた写真家のような同年代や仲間の活躍が何かを始める動機につながります。これはロータリークラブでも同じように感じることはあります。そういう仲間の一部に私もなりたいたい今回思いました。

**サッカーを通じた子供の育成
～ リスペクト、暴言・暴力根絶活動 ～**



鬼頭秀幸プログラム委員長

こんにちは、3週連続担当例会の鬼頭でございます。

さて、本日の例会では、スポーツの中でも人気といえば、真っ先に野球やバスケットボールやサッカーが思い浮かぶかと思います。豊橋には既にフェニックスというプロバスケットチームもありますので、他の地域と比較すると、スポーツが活発に行われていて、地域が活性化しているように思えます。一方では、小・中学校の部活動が減少していき、子供たちも減少していくため、地域の活性化の持続に不安を余儀なくされています。

今回は、少年指導において、比較的早い時期から海外の考え方を取り入れたサッカーに注目します。またこの地域には、古くからクラブ化を手掛けていて、子供たちにもサッカーは、大人気スポーツです。

そこで、今回は、組織的にも運営的にも活発に活動している公益財団法人愛知県サッカー協会東三河地区協会（東三河サッカー協会）理事長 山内一乗様に卓話を依頼する

運びとなりました。

山内様は、私の一つ上の先輩で、私の高校時代からの知り合いで、サッカーを通して社会人になっても公私ともお世話になっている方です。お仕事のほうも現在、創業 80 年近くの豊国工業株式会社の代表取締役社長を務めています。実は、私山内様のお兄様にもお世話になっておりまして、皆様もご存じの昨年、地区ガバナー補佐を務めた、豊橋北ロータリークラブの山内有恒様です。ロータリアンとして、言わないわけにはいけませんので、ご紹介させていただきます。

それでは、お待たせしました。山内一乗さま、本日、限られた時間ではありますが卓話のほう、よろしくお願致します。



公益財団法人愛知県サッカー協会
東三河地区協会
理事長 山内一乗氏



サッカーを通じた子供の育成 ～リスペクト、暴言・暴力根絶活動～ 4/19



3. 将来なりたい職業

小学生男子は依然としてサッカー選手への憧れが多い

学 研	日本FP協会	第一生命
1位 Youtuber	サッカー選手・監督	会社員
2位 プロサッカー選手	野球選手・監督	YouTuber/動画投稿者
3位 警察官	医師	サッカー選手
4位 運転士	ゲーム制作関連	警察官
5位 プロ野球選手 エンジニアプログラマー	会社員・事務員	ゲームクリエイター

学研総合研究所「小学生白書」(2022年) 全国小学生対象「小学生「夢をかなえる」作文コンクール」(2022年) サンプル3000によるインターネット調査(2022年)

“同じ夢を追いかけていきたい”
“君の夢は、私の夢”

子供たちの夢を一緒に追いかけて、夢の実現をサポートする



サッカーを通じた子供の育成 ～リスペクト、暴言・暴力根絶活動～ 2/19



2. 協会概要



愛知県下6地区協会の中で最も小規模な協会



サッカーを通じた子供の育成 ～リスペクト、暴言・暴力根絶活動～ 3/19



2. 協会概要

設立 1978年
会長 木村 豊
活動範囲

協会理念

私たちは、東三河を代表するスポーツ団体として、サッカーを通じその普及・発展に努め、青少年の健全育成を始め、すべての世代にわたって心身の健全な発達に貢献していきます。

— 2025年Vision —

- 各世代に応じてサッカーを楽しむことで人々が幸せになる環境を作り上げる。
- サッカーの強化に努め、地域のチーム・選手が日本トップレベル及び世界で活躍することで、地域住民に勇気と希望、そして感動を与える。
- 常にフェアプレーの精神を持ち、あらゆる人々との友好を深め心豊かな社会を築く。



(各市サッカー協会との包括連携協定締結)

豊橋市サッカー協会
豊川サッカー協会
蒲郡市サッカー協会
田原市サッカー協会

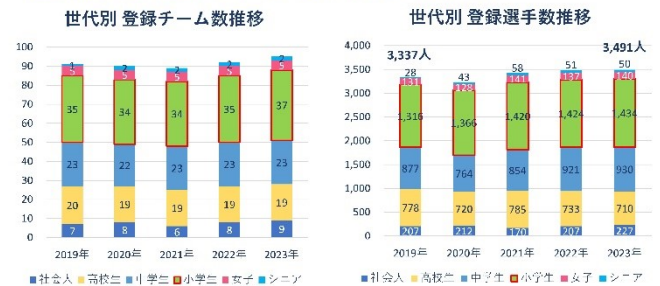


サッカーを通じた子供の育成 ～リスペクト、暴言・暴力根絶活動～ 5/19



4. 小学校クラブチームの現在

東三河地区の登録数推移 (チーム/選手) 2019年～2023年9月



小学生のサッカー選手は5年で約10%の増加
(協会全体では約5%の増加)

※小学生の選手登録は4年生以上で上記データには3年生以下を含まない。



サッカーを通じた子供の育成 ～リスペクト、暴言・暴力根絶活動～ 6/19



5. サッカー活動を取り巻く課題

小学校部活廃止～中学部活縮小・廃止

クラブチームしかサッカーをやる場所がない

クラブチームは増加傾向

グラウンドの不足

練習会場への移動

ナイター練習送迎

保護者の負担

大会の増加

指導者の質の維持・向上や

ボランティアコーチ・スタッフの拡充が必要



指導者ライセンス必要

指導者の不足

審判ライセンス必要

審判の不足



普及、発展に立ちはだかる問題も・・・

サッカー活動を通じてもっともやってはいけないこと

- サッカーが嫌いになってしまう
- サッカーはやりたいが、その場所が嫌になってしまう

- パワハラ
- いじめ
- 差別
- 虐待
- 暴言
- 暴力

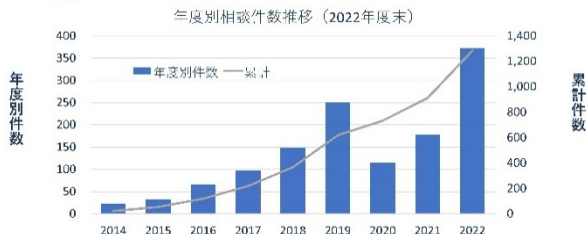


サッカーをさらに普及、発展させるために根絶が急務

日本スポーツ協会 (JSPO) 暴力行為の相談件数

2023/04/14 発表 (JSPOホームページより)

JSPOは、スポーツにおける暴力・暴言・ハラスメント等の不適切行為に対応するため、2013年3月から「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」(以下「相談窓口」という。)を開設しており、2022(令和4)年度は、過去最多の373件の相談がありました。前年度と比較すると約2倍に増えています。



暴力行為等相談窓口への相談件数は過去最多に!

6. サッカー協会の取り組み (1) リスペクト・フェアプレー



2008年度～
サッカー界におけるリスペクトの重要性を認識し、リスペクトプロジェクトを開始。

大切に思うこと

【リスペクトの本質】

- ・常に全力を尽くしてプレーすることがフェアプレーの原点である
- ・「大切に思うこと」
- 仲間、対戦相手、審判、指導者、用具、施設、保護者、大会関係者、サポーター、競技規則、サッカーというゲームの精神、などサッカーを取り巻くあらゆるもの

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：本日講師の山内一乗様よろしく
お願い。

- 大林則久：誕生日をお祝い頂き。
- 高橋哲也：入会記念日をお祝い頂き。
- 飯野益通・保永真生：会員スピーチをさせて頂き。
- 鬼頭秀幸：本日も担当例会をさせて頂き。
- 加藤ゆり子：出席報告をさせて頂き。

★幹事報告

・秋田豪雨災害支援金のお礼と報告、米山功労者表彰 表彰品追加のお知らせが届いております。

6. サッカー協会の取り組み (2) ウェルフェアオフィサー

- ウェルフェア：幸福、快適な生活、福利
- 【役割】
- サッカーファミリーの安心・安全を守り、より快適なサッカー環境を構築する。
 - 好ましくない行動に対して懲戒罰を与えるのではなく、リーダーとして皆をまきこみ、仲間に関心性を伝える。活動内容は、
- I. リスペクトやフェアプレーを啓発、促進
 - II. 暴力、差別等の予防活動を通じた、問題の未然防止
 - III. 顕在化した諸問題対応
 - IV. 司法機関や諸関連組織への橋渡しとなる

- ウェルフェアオフィサー (ジェネラル)
- サッカー協会においてリスペクト・フェアプレーを推進
- マッチ・ウェルフェアオフィサー
- 競技会においてリスペクト・フェアプレーを推進
- クラブ・ウェルフェアオフィサー
- 所属クラブにおいてリスペクト・フェアプレーを推進



ウェルフェアオフィサーはリスペクト・フェアプレーの伝道者

6. サッカー協会の取り組み (3) セーフガーディング

開放的であること

子どもたちとのかわりには保護者の許可を得た上で公の場で

- 子どもと二人きりになる状況は作らない
- 子どもに指導助言を与える場合は公の場で行う

適切な関係を保つ

子どもたちを平等に扱い、特定の人物をえこひいきしない

- 親密になりそうなきも友好的、開放的な態度
- 自分と子どもたちとの距離を認識

全ての子どもに敬意を表す

子どもたち選手自身の成長及び意思決定の手助けを行う

- 選手との不必要な身体接触は行わない
- 男子女子関係なくサッカーそのものをリスペクトする

担当の職務を行う資格

常に最新情報の更新に努める

セーフガーディング：子どもたちがサッカー、スポーツを安心、安全に楽しむ権利とその環境を守るための取り組み

7. 最後に

- 可能性豊かな子供たちの夢の実現を支援する
- 安心して安全にサッカーができる環境づくりが必要
- 支援する人 (指導者・審判員・保護者・大会スタッフ) の拡大
- プレーの質をより高められる施設の整備、拡充
- リスペクト・フェアプレーに反する行為の根絶
- サッカーファミリー (する、みる、関わる) 人口の拡大
- もっともっとサッカーに関心を持っていただく

このような思いで協会活動を運営しています。

小久保拓吏：年末家族会来週開催です。よろしくお願ひ。
真野善和：会報に米山奨学生ルナさんの写真掲載ありがとうございました。牧会員との3人のショットは米山の忘年会のものです。
鈴木紳昭：先日、人生で初めて手術入院を経験しました。健康は大切だと気付きました。
鈴木雅人：ニコボックスの発表をさせて頂き。
鈴木雅人ニコボックス委員